

令和 6 年度浜田地域保健医療対策会議【議事概要】

【日時】 令和 7 年 3 月 4 日（火） 19:00～21:00

【場所】 浜田合同庁舎 2 階 大会議室

【出席者】 各医師会長、浜田江津歯科医師会長、島根県薬剤師会各支部長、島根県看護協会浜田支部長、各病院長他、島根県環境保険公社浜田支所長、浜田圏域健康長寿しまね推進会議会長、浜田圏域老人施設協議会会長、各介護支援専門員協会、島根県訪問看護ステーション協会浜田支部長、島根県食品衛生協会浜田支所長、保険者協議会(欠席)、各消防本部消防庁、住民代表、浜田市長他、江津市長他、浜田地区・広域行政組合、事務局

【議題】

1 報告事項

（1）医療・介護連携部会における検討状況について

- ・地域医療構想の状況について
- ・圏域の病床の状況について
- ・在宅医療・介護連携に係る取組について

2 意見交換

「新たな計画を踏まえた浜田圏域における今後の取組について」

- ・浜田圏域の住民の健康づくりに関する状況
- ・各機関の取組状況等

3 その他

【主な意見・協議結果について】

1 医療・介護連携部会における検討状況について

- ・浜田圏域における地域医療構想の進捗状況を確認

2 意見交換「新たな計画を踏まえた浜田圏域における今後の取組について」

＊島根県保健医療計画第 5 章 5 疾病 6 事業及び在宅医療を中心に意見交換実施
脳血管疾患＞

- ・西部島根医療福祉センターでの VR リハビリを実施している患者数は減っている。

心血管疾患＞

- ・済生会江津総合病院を中心として、心不全地域連携パスの活用を進めている。

精神疾患＞

- ・精神疾患の早期発見・早期治療に繋がるような体制を構築していく。
- ・認知症対策など、飲酒が健康に与える影響について啓発を強化していく。

糖尿病＞

- ・CKD シールを活用して、圏域内での連携を強化していく。

救急医療＞

- ・ICT を活用しながらの救急医療提供体制が整備されつつある。
- ・浜田市消防本部では、マイナンバーカードを活用した救急情報共有システムの実証事業を実施している。
- ・江津・邑智消防組合では、医療関係者間コミュニケーションアプリ“ジョイン”を活用し、医療現場のコミュニケーションを円滑にしている。

感染症対策＞

- ・今回の新しい島根県保健医療計画から、この感染症に対する医療計画も包含。
- ・高齢者福祉施設への感染症対策を医療機関と連携して行い、施設職員の安心及びスキルアップにつながっている。

周産期医療＞

- ・済生会江津総合病院：産婦人科医の確保が難しく、分娩は休止状態。
- ・浜田医療センター：江津管内の妊婦の分娩も取り扱っている。次年度は、現状より1名減の産婦人科医3名体制で対応していく。

在宅医療＞

- ・各機関と連携して、自宅での看取りを希望される患者現状かなり厳しい。
- ・ケアマネも減ってきている。人材不足、社会資源の不足など、様々な課題がある中で、効率的に業務を遂行していく上でも、ICT は今後活用していきたい。
- ・様々な ICT ツールを活用し、医療機関・介護事業者間での情報共有を強化していきたい。

3 その他

- ・令和6～7年度の取組状況及び取組の方向性について、今後照会予定。